

大阪府知事 中川和雄殿

公述申出人

住所 大阪府茨木市学園南町8番25号  
電話 0726(33)9210  
氏名 立岡 健  
年令 40才  
職業 茨木市職員

意見の要旨およびその理由

(意見の要旨)

茨木・箕面北部丘陵開発にかかわる市街化区域および市街化調整区域に関する都市計画の変更案について反対の立場から意見を述べるものであります。

現在すすめられている「北部丘陵開発計画」は開発企業にのみ利益をもたらし、市民にとっては憩いの場である貴重な「里山」を破壊する“乱開発”計画であるといえます。市の説明会、公開質問状に対する回答においても、市民が懸念を表明している「交通渋滞の激化」や「自然環境の破壊」について具体的な対応策やデータすら示さず、市民の不安や疑問は一層深まるばかりです。

(理由)

(1)茨木市は「北部丘陵開発計画」について7月17日より7月31日の間、9箇所において説明会を実施しましたがこの間、市の最高責任者である市長は一切出席せず、7月31日には時間を理由に質疑途中で打ち切り、再度の説明会開催要求を無視。10月1日行なった茨木市都市計画審議会でも、市民の傍聴・意見陳述の声をはねのけ密室の中で強行可決を行ないました。一方、9月30日同一案件で行なわれた箕面市都市計画審議会では、傍聴・意見陳述を認めています。両市の対処の違いは、茨木市民にとっては、まったく理解に苦しむところであり、矛盾しています。

(2)わたしたちは茨木市在住の478人の全自治会長にたいして「北部丘陵開発計画」についてアンケートを行なったところ、50.63%から回答が寄せられました。

①「計画自体を知らない」とこたえた人 39.5%

②「交通渋滞、自然破壊について批判がある」とこたえた人 40.5%

③「計画の見直し」または「撤回」とこたえた人 83.7% (計画に賛成 16.3%)

との結果がでています。

この結果は、わたしたちが指摘しているように本開発計画が“市民不在”のもとで作られている証拠であるといえます。

(3)本計画を市民参加で見直しを図ることが急務であるといえます。大阪府は来年2月に都市計画地方審議会、3月に都市計画決定とのタイムスケジュールを組んで、行政ペースですすめようとしています。大阪府は、茨木市民の声を充分聞き入れ慎重な取り扱いをされるよう陳述するものであります。

以 上